

気象台ノート

大地震、冬季の備えを！

～日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震～

冬季に巨大地震・大津波が発生すると、吹雪や積雪により避難に時間を要することや、屋外や寒い屋内での避難は低体温症のリスクが生じるなど、積雪寒冷地特有の課題もあり、広範囲で甚大な被害が発生するおそれがあります。また、屋根に雪が多く積もっていると、地震の揺れによる家屋の倒壊や、屋根からの落雪の可能性がより大きくなります。屋根からの落雪は人を巻き込む危険性があるほか、避難路をふさぐ原因にもなりますので、十分に注意しましょう。

「北海道・三陸沖後発地震注意情報」はご存知ですか？12月16日で運用開始から1年が経ちます。

日本海溝および千島海溝沿いの領域では、過去にマグニチュード6～7クラスの規模の大きな地震が繰り返し発生しており、地震の揺れや津波による被害が発生しています。

この領域で、規模の大きい地震が発生した場合、

さらに続いて規模の大きな地震が発生する事例（以下、「後発地震」）が知られています。「北海道・三陸沖後発地震注意情報」は、この領域とその周辺でマグニチュード7クラスの地震が発生した場合に、大規模な後発地震の発生する可能性が平時よりも高まっている事を伝える情報です。この情報は、必ず大きな地震が起こるというものではなく、これまで以上に発生する可能性が高まっているという情報です。もしもこの情報が発表された場合は、1週間程度は後発地震に向けた備えを再確認しましょう。

冬の地震への備えは…



屋根からの落雪に注意！



寒さ対策も大切！

後発地震への備えは…



直ぐに逃げ出せる態勢での就寝



非常持出品の準備と確認 など

問い合わせ 室蘭地方気象台 ☎0143-22-4249



問い合わせ
胆振東部消防組合
消防署厚真支署
☎26-7119

住宅用火災警報器を設置しましょう

住宅用火災警報器の設置は、消防法で義務づけられています。町内の設置率は11月末時点で全世帯数の92.8%です。胆振東部消防組合消防署厚真支署では未設置の住宅への普及・促進に取り組んでいます。

予期せぬ火災を未然に防止！

居間でうたた寝している最中に、住宅用火災警報器の音が鳴った。室内には白煙が漂い、仏壇から火の手が上がっていたため、台所に駆け寄って水をくみ、無事に初期消火できた。

住宅用火災警報器による早期発見は火災の防止につながります。大切な命を守るために、住宅用火災警報器の設置・維持管理をしましょう。

今年度から厚真町に居住する65歳以上のみの世帯を対象に、住宅用火災警報器取付費用給付事業を実施しています。詳しくは、消防署厚真支署にお問い合わせください。